

CASBEE神戸ver.3/CASBEE-建築(新)
川崎重工工業株式会社 西神戸工場 新総合ビル

■使用評価マニュアル CASBEE神戸ver.3/CASBEE-建築
 ■評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD_

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.4
Q1 室内環境							0.40	-	-	3.4
1 音環境						4.0	0.15	-	-	4.0
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	3.0	-	
1.2 遮音						5.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		T-2性能				5.0	0.60	3.0	-	
2 界壁遮音性能		D45				5.0	0.40	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音		天井:岩綿吸音板、床:タイルカーペット				4.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境						3.3	0.35	-	-	3.3
2.1 室温制御						3.6	0.50	-	-	
1 室温						3.0	0.38	3.0	-	
2 外皮性能		Low-e複層ガラス、外壁・屋根の断熱材				4.0	0.25	3.0	-	
3 ゾーン別制御性		ペリメータとインテリアのゾーニング、ペリ側に冷暖フリーを採用				4.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境						3.2	0.25	-	-	3.2
3.1 昼光利用						1.8	0.30	-	-	
1 昼光率						1.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口							-	3.0	-	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策						4.0	0.30	-	-	
1 昼光制御		ブラインドと庇により制御				4.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度						2.0	0.15	3.0	-	
3.4 照明制御		1作業区分で制御可能				5.0	0.25	3.0	-	
4 空気質環境						3.3	0.25	-	-	3.3
4.1 発生源対策						3.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質						3.0	1.00	3.0	-	
4.2 換気						3.6	0.30	-	-	
1 換気量		30m ³ /h人以上の換気量				4.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能						3.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		各種排気と6m離している				4.0	0.33	3.0	-	
4.3 運用管理						3.5	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		手動による計測及び管理マニュアルの整備を行う				4.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御						3.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.9
1 機能性						3.7	0.40	-	-	3.7
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性						3.0	0.33	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応						3.0	0.33	3.0	-	
3 バリアフリー計画						3.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性						4.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		事務室天井高2.7m、南北面は横連窓とする				4.0	0.33	3.0	-	
2 リフレッシュスペース		執務室の1%以上 自動販売機設置				5.0	0.33	-	-	
3 内装計画						3.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理						4.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		内装では防汚性や維持管理に配慮、外装は耐候性塗料を採用				4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		充分なスペースの清掃員控室、廃棄物置場を確保				5.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						4.0	0.30	-	-	4.0
2.1 耐震・免震・制震・制振						4.8	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		耐震安全率1.5倍 制震による損傷制御設計				5.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		制震装置を導入し、部分的に地震時の内部設備保護を図る				4.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.4	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		タイルカーペット、ビニルクロス、岩綿吸音板				5.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		上位3種の2種類以上にB以上の管材を使用、Eは不使用				5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.2	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
3 電気設備		非常用発電機・無停電装置の設置、電源設備の地下設置無し				4.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.9以上	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.30未満	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			4.0	0.30	3.0	-	
4500N/m ² 以上							
3.3 設備の更新性			3.6	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	ラック配線、天井点検口の適正配置による更新性の向上	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	二重床、ラック配線、天井点検口の適正配置による更新性の向上	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	将来スペースを確保	4.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			4.0	0.40	-	-	4.0
建物形状や植栽により良好な景観を形成							
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	4.2
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.3
1 建物外皮の熱負荷抑制			5.0	0.20	-	-	5.0
BPI _m :0.77							
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			4.3	0.50	-	-	4.3
[BEI][BEIm] = 0.67							
4 効率的運用			4.5	0.20	-	-	4.5
集合住宅以外の評価			4.5	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	中央監視盤による電気量の計測、BEMSIによる分析	4.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	運用・維持・保全の基準方針の策定	5.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	4.2
1 水資源保護			3.5	0.20	-	-	3.5
1.1 節水			4.0	0.40	-	-	
節水コマに加え、節水型便器を採用							
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.3	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	雑排水利用システムを採用	4.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			4.5	0.60	-	-	4.5
2.1	材料使用量の削減	鉄骨基準強度F=325、BCP鋼材、QLデッキなど	5.0	0.11	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	杭や基礎等に高炉セメントを使用	5.0	0.22	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	リサイクル材を3品目採用	5.0	0.22	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	乾式工法なので躯体と仕上材が容易に分別可能	5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.9	0.20	-	-	3.9
3.1 有害物質を含まない材料の使用			5.0	0.30	-	-	
接着剤・シール等に有害物質を含まない製品を使用							
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0,GWP<50の断熱材を採用	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.9
1 地球温暖化への配慮			4.0	0.33	-	-	4.0
LCCO2排出量の抑制							
2 地域環境への配慮			3.6	0.33	-	-	3.6
2.1 大気汚染防止			5.0	0.25	-	-	
燃焼機器を使用していない							
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.7	0.25	-	-	
1	雨水排水水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐車場、駐輪場の適正台数確保	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	ゴミの分別を行い、各階に置場を設置	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			4.2	0.33	-	-	4.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			5.0	0.40	-	-	
1	騒音	境界線において基準値以上の騒音対策	5.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			5.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光ガイドライン・広告物ガイドラインに準じて計画	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	西面にルーバー、各階に庇を設置、反射光のシミュレーション実施	5.0	0.30	-	-	